



③2008年 7月15日

④2008年 9月23日

⑤2008年12月16日

(c) 開催場所：①鎌倉パークホテル

②鉢の木 新館

③銀座アスター 鎌倉賓館

④富士サファリパーク、御殿場高原ビール「バイキングレストラン麦畑」、  
御殿場プレミアムアウトレット

⑤鎌倉商工会議所 地下ホール、華正楼 鎌倉

(d) 対

象：①正会員32名、OB30名、来訪JC54名、来賓38名、ゲスト9名

②正会員32名、OB27名、ゲスト1名

③正会員32名、OB22名、

④正会員19名、会員家族22名

⑤正会員40名、OB19名

## 2) 感想

本年度、藤井理事長のテーマ「回帰・観照」を実践していく上で、総務交流委員会では会全体を見渡しながらかつ適切に対応し組織を運営していくことと同時に、日ごろから会員同士のみならず様々な人との交流を大切に、私たちの周りの多くの団体に対しましても関係強化を図ってまいりました。活動に際しましては、常に目的意識を持つと共に、お互いに個人の自由な意思を尊重しながらも、組織の一員として協力を惜しまないものでした。

また、委員会の性質上、様々な角度から当会議所もしくは青年会議所活動というものを見つめる機会があった事、メンバーならびにOBの諸先輩方の会に対する意識を確認することが出来ました事は今後の活動に際して大きな財産になると思われれます。

さらに、年間を通して付託された役割が広範で煩雑だったにもかかわらず、一年間を平準的かつ適正な活動ができましたのも、委員会メンバーだけではなく多くの仲間の協力があったからこそであります。これは青年会議所運動の根幹を支える最も大切な観念が行動として表現されたということであり、大いに誇れるものであります。

以上のように一年間の活動を通して高い意識のもとでJC活動に取り組むメンバーを生み出すことが出来たことは、今後も存続するであろう鎌倉青年会議所が多くの市民にも認知され、より確かな青年会議所運動に繋げていけるものと期待して止みません。

最後になりますが、辛抱強く見守っていただいた藤井理事長をはじめとする正副理事長、厳しくもまた楽しくご指導くださった石井専務理事、委員会活動を支えていただきました委員会メンバーのみなさま、そして各委員長をはじめとする全てのメンバーに感謝を申し上げ委員会報告とさせていただきます。一年間、本当に有難うございました。